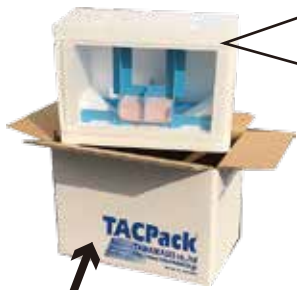


TACPack[®] Di シリーズについて

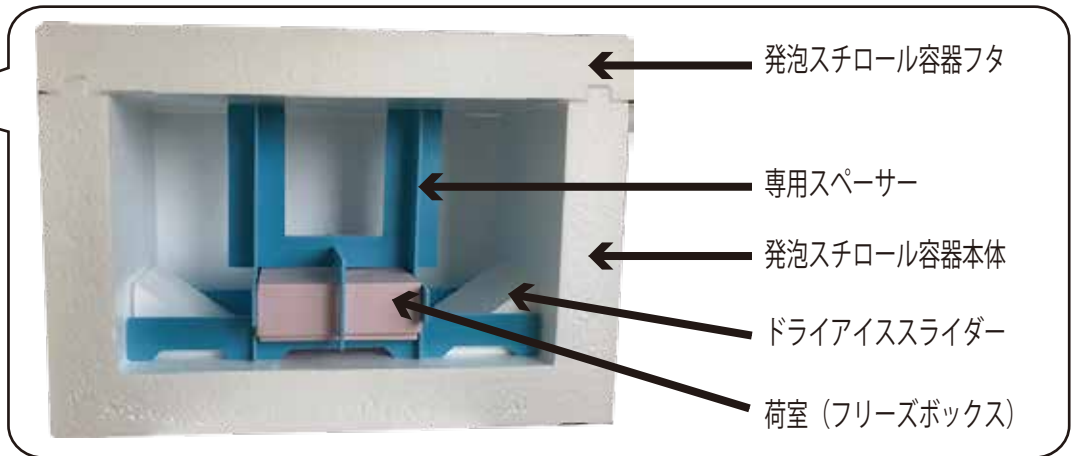
- 荷物を容器内に収納し上部開口より $\phi 9$ mmのペレット状ドライアスを投入するとペレット状ドライアイスが適切に荷物を囲み、荷室内の温度を -70°C 以下に維持する時間を計測したデータを取得しております。
- ラインアップ製品は荷室内の温度を推移を測定済みです。
- 荷物が容器内で固定でき安定します。

部材構成

TACPack[®] Di-S



外装段ボール箱



発泡スチロール容器フタ

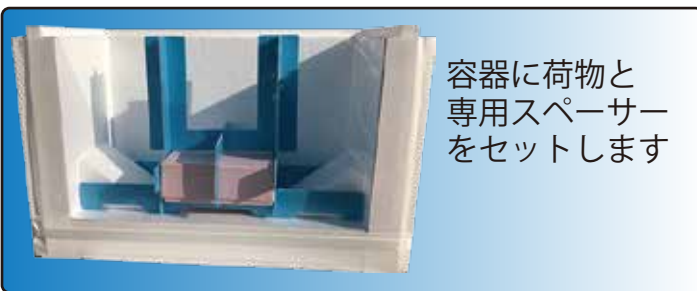
専用スペーサー

発泡スチロール容器本体

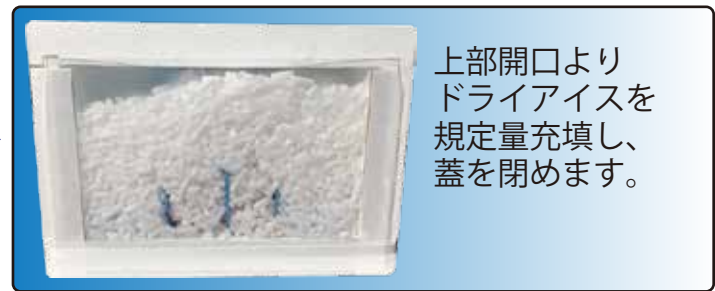
ドライアイススライダー

荷室 (フリーズボックス)

ドライアイス充填方法



容器に荷物と専用スペーサーをセットします



上部開口よりドライアスを規定量充填し、蓋を閉めます。

温度維持の仕組みとご使用になるドライアイスについて

温度維持の仕組み



ドライアイスが昇華する際、上部のドライアイスが荷物を囲むように移動する構造により、荷室内の温度を維持します。

ご使用になるドライアイスについて

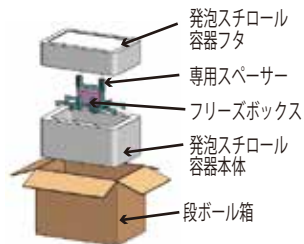


ドライアイスは $\phi 9$ mm以下のペレット状ドライアイスを使用してください。

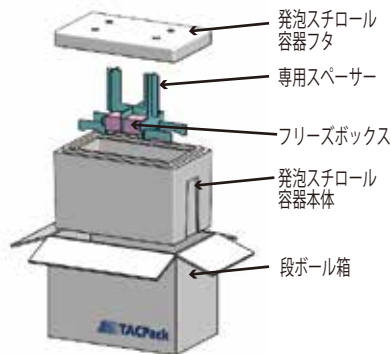
ドライアイス取扱上の注意

- 直接手でさわったり、口に入れしないでください。凍傷になります。
- 自動車に持込む場合、運転手や乗客がいる場所に置かないでください。酸欠になります。
- 地下室や換気のない部屋で、使用しないでください。酸欠になります。

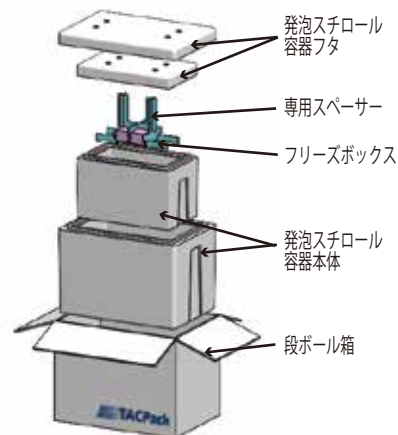
パッケージ別構成図



TACPack® Di-SS



TACPack® Di-S



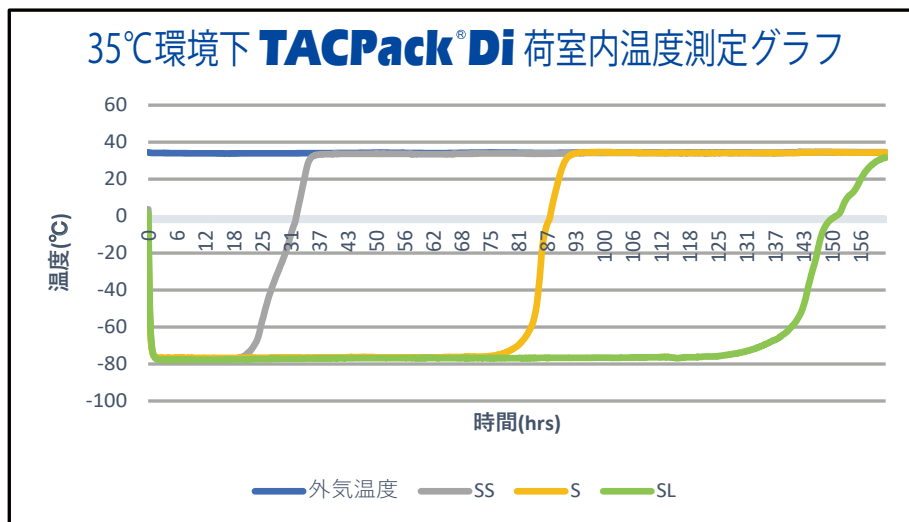
TACPack® Di-SL

パッケージ規格

製品名	外観	外寸 (mm)	荷室 (mm)	ドライアイス 充填量 ※ $\phi 9\text{mm}$ ドライアイス	パッケージ 重量 ※ $\phi 9\text{mm}$ 含まず
TACPack® Di-SS		D:220 W:330 H:250	12本用 フリーズボックス 荷室 D:40 W:80 H:46	2.6kg	0.7kg
TACPack® Di-S		D:320 W:520 H:395	100本用 フリーズボックス 荷室 D:138 W:138 H:49	10.0kg	2.3kg
TACPack® Di-SL		D:450 W:640 H:500	100本用 フリーズボックス 荷室 D:138 W:138 H:49	10.0kg	5.0kg

記載内容は予告無く変更される場合がありますので、ご了承下さい。

温度測定データ



製品名	維持時間 外気 35°C 荷室 -70°C以下	維持時間 外気 35°C 荷室 -75°C以下
TACPack® Di-SS	約 23hrs	約 20hrs
TACPack® Di-S	約 81hrs	約 75hrs
TACPack® Di-SL	約 134hrs	約 126hrs

※当社試験データであり保証値ではありません

-2020. 11. 7-